

令和6年度県PTA連合会「重点運動項目」取組状況調査における具体事例のまとめ

I 「食育」について具体的事例

【PTAの取組】

- ・ PTA と連携して、学校田で田植え・稲刈り・脱穀等の米作り（もち米）に取り組んでいる。そして、収穫したもち米を利用し、島民も招いてもち作り体験を実施し、最後にできた餅を皆で食べるようにしている。米作りを通して、親子ともに自分たちで育てた農作物を食す体験をすることができる。
 - ・ 栄養教諭による食育指導や家庭教育学級におけるタカエビ料理教室
 - ・ 家庭教育学級で魚さばき体験を計画
 - ・ PTA 研修視察で給食センターに訪れ、所長や栄養教諭の話を聞き、調理室等の見学を行い、給食試食までさせていただいた。
 - ・ 入来地域 PTA で子ども食堂を運営されている方の講義を行った。
 - ・ 学校保健委員会等と関連づけ朝食摂取調査等を行った。
 - ・ 学校保健委員会で食育についての講演会と簡単な調理をした。
 - ・ 親子おおすみおさかな教室を開催している
 - ・ 学校栄養士を招聘し、親子食育教室を実施
 - ・ 毎日朝ごはん運動の推進
 - ・ 学校の一年を通しての米づくりに参加する。
 - ・ 保健日より、学級 PTA、学校保健会等を通して、保護者への啓発を図った。
 - ・ 栄養教諭を講師に招き、自分たちで育てた食材（いも・しいたけ等）を使って、調理実習をしている。
 - ・ 栄養教諭からバランスのよい食事について講話をしていただいた。
 - ・ 子どもが作るお弁当の日
- 家庭教育学級で、「子どもたちの食」というテーマで、町の保健センターの管理栄養士に講話をしてもらった。
- ・ 学校保健委員会で「望ましい基本的生活習慣の確立をめざして」というテーマを定め、年間を通して全家庭で取り組んでいる。「望ましい基本的生活習慣」として、早寝、早起き、朝ご飯、歯磨きを位置づけ、学級 PTA や学校保健委員会で取組状況を確認している。
 - ・ 栄養教諭を招聘し全学級で食育授業を実施しその様子を週報やブログで広報。家庭教育学級で民間の外部講師を招聘し食に関する学習会を開催。
 - ・ 今年度より一年生を対象に給食試食会を行う。保護者同士の交流の場にもなり、普段子どもたちが食べている給食の量や味付け、食材の大きさなど知ることができた。また、実際に子どもたちが食べている様子も見ることができた。
 - ・ 1 年生保護者を中心に家庭教育学級において、給食試食会など食育に重点を置いた講義・体験学習を取り入れている。
 - ・ 家庭教育学級で栄養士を講師にお呼びして食育講座を開いた。
 - ・ 家族交流給食
 - ・ 家庭教育学級での食育講話
 - ・ 家庭教育学級における給食試食会（養護教諭による給食の説明）
 - ・ 保健だよりによる啓発
 - ・ 家庭教育学級：お魚捌き体験教室、育てたジャガイモで調理しよう
 - ・ 給食試食会、栄養教諭による授業、さつまいも・桜島大根の栽培
 - ・ 夏休みの課題として「かみかみメニュー」作りを課題として出している。
 - ・ 全体 PTA で養護教諭が説明し、「早寝・早起き・朝ごはん」を合言葉に全体で取り組んでいくことを確認した。
 - ・ 「早寝・早起き・朝ご飯」（特に「早起き・朝ご飯」）を推奨し、各学年 PTA の努力目標に設定して実践している。
 - ・ PTA 保体部が参加しての学校保健委員会で、講師を招聘し、「ミネラル」をテーマに講話
 - ・ 給食試食会を実施し、家庭でも栄養バランスの取れた食事をするように、考える機会を設けた。
 - ・ 学校保健委員会(PTA 保体部出席)での食育についての重要性を啓発し、その後行われる学級 PTA で PTA 保体部から周知する。
 - ・ 夏季休業中の課題の一つとして、親子で食事を作り、その様子を写真付きの記録としてまとめさせる取組を実践した。
 - ・ 学級 PTA 単位で、中学年は親子でクレープ作りを、高学年は宿泊し親子で夕食や朝食を作ることで食の大切さを学習した。
 - ・ 給食フェスタを実施し、学校における食育の取り組みを発信し、地域と連携した食育活動の推進を図る。

- ・ 親子クッキングを行い、ロイロノートを使って、提出し 掲示をしている。
- ・ 社会教育学級で学校栄養教諭を招いて、食育についての講演会を開いた。
- ・ 学校保健委員会(年2回)において、食育の企画・推進を行った。
- ・ 学校給食委員会を実施した。
- ・ 夏休みに「健康レシピ親子クッキング」に全校で取り組み、選ばれたレシピ料理は、給食で提供している。
- ・ 7月、小中学校 PTA 合同で朝食の大切さについて研修を行い、味噌玉作りを行った。
- ・ 地元の川で獲れたアユを、川遊び体験時に食べる。
- ・ 親子で食に関する講座を受講した後、給食試食会を実施している。
- ・ 保健だよりやPTA懇談会で「食育」について取り上げて話し合った。
- ・ 自分たちが育てた野菜の世話に収穫することで、食べ物を育てることの大切さや食品ロスについて保護者と共に考える(3年生)
- ・ もちつき大会、芋ほり、焼き芋や保護者、地域と行うことで食べ物の大切さについて考えられるようにしている(全校)
- ・ 献立表にコーナーを設けてお知らせしている。家庭教育学級で栄養教諭が紹介する。
- ・ 家庭科の長期休業中の課題で、「我が家の朝食」に取り組みさせている。
- ・ 子育ての悩みごと座談会を実施し、その中で子供の食事のマナーについて保護者同士話し合った。
- ・ PTA 新聞でお弁当の具材アンケート結果を載せるなど、食育に関連する話題を取り上げた。
- ・ 保健体育部がプリントを配布、呼びかけをしている。
- ・ 夏季休業中の親子クッキング、サツマイモ栽培とさつまいもを使った調理実習
- ・ 学校保健委員会において、栄養教諭による「朝ご飯について」の講話を行った。
- ・ 昨年度に引き続き、給食試食会を実施し、試食会を通じて食に関する知識や意見交換が幅広く出来ました。また昨年よりも新入生の保護者さんや父親の参加者が増えて良かった。
- ・ 「早寝・早起・朝ごはん」について、各家庭での取組状況を学級 PTA で確認し合った。
- ・ 12月の学校保健委員会で、朝食の重要性について町保健センターの職員から講話をいただく予定である。
- ・ 親子食堂への参加
- ・ 学校給食センターの視察・給食試食研修会
- ・ PTA 共通実践事項に取り入れている。
- ・ 学校給食試食会を開催。学校給食センターから講師をお招きして、朝ごはんを食べることの大切さや、子供達が普段食べている給食がどのように作られているかを学び、給食を参加者全員で準備して食べる取り組みを行いました。
- ・ 栄養教諭を講師とした家庭教育学級を実施し、親子で味噌玉作りをした。
- ・ 「にこにこお弁当の日」(児童が主になって弁当を作る日)、親子郷土料理教室
- ・ 3年生では郷土料理を食改メンバーに教わる時間を作っている。2年生では学校菜園で安納芋を栽培、PTA 愛校作業日に畑作りのサポートをした。
- ・ 西始良サポーターズ(旧おやじの会)や家庭教育学級が中心となり、稲作体験を実施している。
- ・ 1・2年：生活科に育てたサツマイモ→焼き芋、3・4年：総合的な学習に育てたもち米→餅にして、育てることや感謝して食することにつながっている。
- ・ 包丁を持たせて切る 味付けまで 子供に任せる
- ・ 子ども食堂、郷土料理作り
- ・ 朝食レシピコンテスト
- ・ 「家庭菜園で、みんなで楽しく食べる」「できるだけ手作り無添加のもの」「朝ごはんはしっかり食べて登校させてます。嫌いな食べ物も食卓に出された分は完食することを基本としてます」「夜ご飯は家族みんなで食べる」

【家庭内の取組】

- ・ メディアの適切な使い方と関連付けて、朝食の摂取についても取り組んでいる。
- ・ 早寝・早起・朝ごはんの実践
- ・ 遠足の日「お弁当の日」に親子で取り組む。
- ・ 朝食・昼食を親子でつくろう
- ・ 自分で作るお弁当の日を年1回設定し、家庭の協力をいただいている。
- ・ 夏休みに親子で朝食作り
- ・ 家庭での料理作りチャレンジ(長期休業)
- ・ 郷土の伝統料理を親子で調理し、食しながら、理解を深める。
- ・ 毎学期一回、家庭生活振り返り週間を設定して朝食の意識啓発を図っている。
- ・ 学校保健委員会で学校歯科医を講師に招聘
- ・ 親子での米作り 餅つき体験 等

- ・ 家庭での親子で料理（夏季休業課題として）
- ・ 親子で一緒に調理等を行い、食卓を囲んだ。
- ・ 団らんを大切に 残さず食べる
- ・ 配布される給食だよりを家庭の話題とした。
- ・ 一緒に撮る食事が温かいものになるように会話を心がけた。
- ・ 朝ごはんをしっかり食べる 食事のマナーを守る
- ・ 「ニコニコお弁当の日」として、子どもが保護者と一緒にお弁当を作るようにしている。
- ・ 親子で作った朝ご飯のレシピや感想をまとめ紹介した。
- ・ お箸ならべやテーブル拭きなど役割を決めて取り組めるようにする。
- ・ 甘いものを食べすぎたり飲み過ぎたりしないと約束している。
- ・ 親子で料理する。
- ・ 3色の食べ物について話をしている。
- ・ 家庭菜園のプランターでじゃがいもやほうれん草を作り、水やり等一緒にしている。
- ・ 「いただきます」「ごちそうさま」を必ず言う。
- ・ 配膳、下膳の手伝いを声かけしている。
- ・ 弁当の日（地元の食材を使って自分で作った弁当を持ってくる）、食農学習（講話）
- ・ 自分たちで収穫した筍を持ち帰り、各家庭で調理して食べる。

【学校の取組】

- ・ 食育だより等での啓発
- ・ 給食試食会（保護者対象、学校運営協議会委員対象）
- ・ 栄養士による食の指導を受けた
- ・ 土曜授業の日に親子講演会で食育をテーマで講演会を実施した。
- ・ ソーセージ作り体験、栄養教諭出前授業（全学年）、虫歯予防教室
- ・ 中・低学年での親子給食試食会や高学年での魚捌き方教室。
- ・ 伝統野菜や農作物の栽培
- ・ 給食試食会
- ・ 12月の土曜授業で「お弁当の日」を実施予定
- ・ 田植え、稲刈り等
- ・ 早寝・早起き・朝ごはん・排泄を呼びかけ、健康チェックで項目ごとにチェックして意識化を図っている。
- ・ 自分でつくるお弁当の日（年3回）
- ・ 米作り・黒糖作り
- ・ 遠足の日に「おにぎりお弁当の日」を設定している。
- ・ 一年生が郷土料理について調べ、実際に調理を行った。
- ・ 1年生保護者を対象に、食育講話、給食試食会、親子調理教室を実施している。
- ・ 年間を通した「稲作活動」（田植え、稲刈り、脱穀、餅つき）
- ・ 理科研究でSDGSを考えた食育を考えた。
- ・ 霧島市健康増進課に出前講座を依頼した。
- ・ 給食参観、試食会の実施
- ・ 生活習慣チェック
- ・ 地域の特産品のおお茶を通しての活動
- ・ 朝食を取るよう呼びかけている
- ・ 弁当の日
- ・ 蕎麦の実を植えるところから、蕎麦にして食べるところまで行っている
- ・ 「お弁当の日」を設定し、生徒が家族とお弁当を創る日を設けている
- ・ 食育講話、給食試食会
- ・ 自分達で作った米や大根、さつまいもを使って調理して食べる。
- ・ 生徒が主体的に食に関心を持ち、家庭の食について保護者と語り合っている。
- ・ 親子でお弁当作りの各家庭に資料配布。
- ・ 朝食の大切さなどが書かれた掲示物。
- ・ 学校保健委員会や学級PTA、学校だより等を利用して食育の啓発に努めた。
- ・ 朝ご飯をたべる。
- ・ 生活習慣振り返り週間
- ・ 成長期の必要な栄養を豊富に含んだお手軽クッキング実習
- ・ 野菜の栽培活動を行い、育てた野菜を使って調理活動を行う。
- ・ 栄養教諭から個別の栄養指導を実施している
- ・ 給食試食会や給食だよりでレシピを紹介している
- ・ 地産地消を心がけている。
- ・ 学校給食を活用した食育

- ・ 夏休みの課題として親子で料理に取り組むものを設定した
- ・ 月に1週の「健康生活調べ週間」において、早寝早起きや朝食の摂取、排便等について呼びかけ、チェックすることで意識化を図った。
- ・ 新一年生保護者を対象に給食試食会を実施
- ・ 給食の代わりに、お弁当の日を設けている。
- ・ 本年度は3年生を対象に、校庭の一部を畑にしサツマイモの苗を植え付け、収穫、学校給食にて食すと言う取り組みを行なった。耕す行程や、植え付け、収穫の作業を学校応援団として地元の農家から協力をもらい、保護者と共に作業を行なった。収穫までの草取りや水やりは子供たちが行い、食育に関する取り組みを地域と保護者で取り組むと共に、保護者は地域との「つながり」の大切さを学ぶことができた。
- ・ 米と野菜を作っているので、手伝ってもらいながら食べ物のありがたさを話したりしている。
- ・ 食育だよりの発行
- ・ 弁当づくりの日（年4日）
- ・ 自分たちで育てたもち米で餅つきをして食べる。
- ・ 文化祭でミネラル不足による影響を、文献と合わせて紹介
- ・ もち米作りを地域の方と行い収穫祭として餅つきをしている。
- ・ 年に2回の生徒が自ら作る「お弁当の日」の開催
- ・ PTA協力のもと、全校生徒によるジャガイモ栽培
- ・ 県とタイアップした食育を中心とした健康管理に関する講話を実施した。
- ・ 地元の窯元から提供された薩摩焼でいただくお茶碗給食
- ・ JAや漁協と連携した体験授業や調理実習の開催。
- ・ 一年生の保護者を対象に、給食試食会を11月に行っている。
- ・ 栄養を考えバランス良く食事することの呼びかけ。
- ・ 全Pを対象とした給食試食会における「食育」指導
- ・ 親子ふれあい給食（給食試食会）の際に、栄養教諭より食育指導を行っている。
- ・ 子どもたちが育てた餅米で、地域の方々と一緒に餅つきをして丸めて会食している。
- ・ おにぎり給食（11月1日 食の大切さについて生徒に考えるために、生徒が各自でおにぎりを作り、給食時間に食べている）

【地域の取組】

- ・ 朝食を摂ることの推進
- ・ 栄養士の講話と親子料理教室をおこなった。
- ・ 学校近くの水田で、地域の農家と連携して米を栽培するプロジェクトを実施している。収穫の喜びを感じる「イッシーまつり 2025」や、収穫した米を使ったおにぎりコンテストを開催し、食べ物がどのように育つかを体感することで、食材のありがたさを学ぶことができる。
- ・ 市が保護者向けに「食育に関するアンケート」を実施した
- ・ 市P連母親部会が取り組んでいる 令和6年度 食育に関する事業「お助け朝ごはん」に参加し、親子で朝食の献立作りに取り組んだ。
- ・ 市P連が行っている「朝食レシピコンテスト」への参加を促したり、長期休業中の家庭科の課題として料理に取り組んでもらったりしている。

Ⅱ 「一家庭一家訓」についての具体的事例

【PTAの取組】

- ・ 「一家庭一家訓」について、PTA全体会の場を利用して周知するとともに、一家庭一家訓を記して掲示するための用紙を配布した。
- ・ メディアコントロールについて関することを家訓を考える
- ・ 家庭教育学級で一家訓一家訓づくりを予定
- ・ 学習発表会で全家庭の家訓を掲示する予定
- ・ カードに記入し、家庭と学校に掲示している
- ・ アウトメディアチャレンジ（選択して取り組む）
- ・ 親子20分間読書
- ・ PTA総会での家庭での3つの目標を共有し、学期ごとにアンケートを通じて取組について振り返りを行なっている。
- ・ 早寝早起き朝ごはんが取組100%だった。
- ・ 家訓の設定 → 家訓の可視化 → 日常での実践 → 振り返り

- ・ 各学期末に、成果や課題の振り返りを PTA や学校評価の際に実施し、継続的な取り組みになるようにしている。
- ・ 元日に拝賀式を行い、1 年の抱負を発表している
- ・ 用紙を準備し、各家庭、学校で掲示している。
- ・ 我が家のスマホ・ゲームのルールを家族で話し合い、用紙に書き、それを家庭に掲示してもらっている。
- ・ 朝家族であいさつを必ず行う
- ・ 全家庭で取り組み、家訓を教室・廊下に掲示している。また、家庭でも掲示してもらい、意識化を図っている。
- ・ 毎学期学級 P T A で取組のようすを紹介していただいている。
- ・ 我が家のルール作りを学校保健委員会や学級 P T A で呼びかけ、各家庭で取り組んだ。
- ・ タブレットやスマホの使用を 21 時までにする。
- ・ PTA 総会、家庭教育学級などでの確認 発表 校内での掲示
- ・ 年度初めの P T A 総会で取組について共通理解し、全家庭で「一家庭一家訓」を作成し各家庭で掲示して実践につなげている。また、学期ごとの学校評価の項目に入れたり学級 P T A の話題にしたりすることで各家庭での意識化を図ることができた。
- ・ 年度初めの学級 PTA で取り組みについて呼び掛け、実践している
- ・ 6 月中に全家庭に案内送付、PTA 生活部で集約し、印刷して、会員に紹介。冬休み明けをめどに取り組み状況のアンケートを実施し、集約した結果を会員に報告する。
- ・ PTA 活動の 1 貫として取り入れており、全児童と保護者が一緒に取り組み、校内で学年ごとに良い作品を掲示し周知を図っている。
- ・ 年度はじめに全家庭に設定してもらい、年間を通して実践してもらっている。（実践内容は全家庭分、校内に掲示）
- ・ 年度当初の学級 PTA、PTA 総会の中で、各家庭で取り組むようお願いをした。
- ・ 親子で行事に参加しよう。
- ・ 全家庭「一家庭一家訓」を作り、PTA 新聞で紹介し合った。
- ・ PTA の際に、状況を確認している。
- ・ PTA 総会で周知し、用紙を配布、家庭掲示を依頼している。
- ・ 年度初めの PTA にて各学級単位で早寝・早起き、予習復習、読書、忘れ物ゼロなど年間を通して取り組む内容を決めている。
- ・ 年度当初、生活面（生活部）や保健面（保体部）での設定・実践を各家庭にお願いしている
- ・ 夏休みの一家庭一家訓として期間を決めて取り組み、結果を 2 学期の PTA 新聞で公表した。
- ・ 我が家の新年の抱負を冬休み（元旦）に考えてもらい、作品にして提出してもらう。
- ・ 令和 6 年度 P T A 活動方針の重点事項として『家庭学習 60・90 運動』の推進を図った
- ・ 自主的に動く 感謝する 挨拶、返事をしっかりと 一緒に楽しく食事をする
- ・ 「楽しい子育て全国キャンペーン」～家族で話そう!我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ～ 三行詩に取り組んだ。
- ・ 年度当初に各家庭で実践することを決め、家庭掲示と学校掲示を行った。
- ・ リビングのつく場所に貼って家族で確認できるようにしている。
- ・ 夏休みに家族新聞を各家庭作成し、我が家の家訓を決めて、掲載している。
- ・ P T A 総会や学級 P T A 等で、各家庭で家訓を決めて取り組むよう呼びかけている。特にメディアとの関わりにおいて、親子で話し合っ規則を決めて守るようにした。
- ・ 年度始めの P T A 理事会で P T A テーマを設定し、その後、開かれる第 1 回の学級 P T A で、それぞれの実態に合わせた親子で取り組む学級の目標を設定する。学期末の学級 P T A で各家庭の取組を振り返り次に繋げていくようにしている。
- ・ 項目を作り保護者へのアンケート実施。

【家庭の取組】

- ・ 一家庭一家訓を全 P 戸数書いたものを玄関に掲示している。
- ・ 家族全員で話し合っ家訓を決定する。その後、子供たちが装飾した家訓をリビングなど目立つ場所に貼り、日常生活の中で挨拶や感謝の言葉を意識して実践する。月に一度、家訓の実践状況を振り返り、全員で改善点を共有することで、家庭内の協力と成長を促す。
- ・ 年度初めに各家庭ごとに一家庭一家訓を設定し、家庭内・校舎内に掲示した。
- ・ 玄関に各家庭の「一家訓」を掲示している。
- ・ 毎日寝る前におやすみのハグ
- ・ 子供と話すこと 5 分でも遊ぶこと 自分と家族の大切さを教えてあげたい
- ・ 元気よくあいさつをする。自分にできる手伝いをがんばる。
- ・ 「はきものをそろえる」「午後 9 時メディア Off」「いつも明るいあいさつ（おはようございます）」等について各家庭で取り組んだ。

【学校の取組】

- ・ 全家庭で取り組み、家訓を教室・廊下に掲示している。また、家庭でも掲示してもらい、意識化を図っている。
- ・ 冬休みの宿題に「一家庭一家訓」を加え、年明けに家族で取り組んでもらっている。
- ・ 学級ごとに1枚のシートにまとめ、学級に掲示している。
- ・ 学校の掲示版に全家庭掲示している
- ・ 家庭用と学校用とラミネート掲示を行い、取り組み状況についてアンケートを実施した。
- ・ 一家庭一家訓を新年のスタートに合わせて作成するよう冬季休業中の課題にしている。
- ・ 一家庭一家訓を5月の土曜授業(ふれあい参観日)で紹介し、児童玄関前の掲示板に一年間掲示している。
- ・ 我が家の家訓をミニ掛け軸にして校内に掲示している。
- ・ 毎週水曜日に実施している「元気チェック」や学期1回取り組んでいる「メディアダウンチャレンジ」での親子で目標設定
- ・ 各家庭に書いてもらった物をラミネートして返却し、玄関等に掲示してもらっている。
- ・ 本校の学校教育目標に合わせ、キャリア教育を軸とした一家庭一家訓を呼び掛けた。
例：「一日一善」、「自分でできることは自分です」、「相手への思いやり、感謝が明日への幸せとなる。毎日楽しく生きる」、「感謝の気持ちを忘れずにありがとうを伝えよう」等。また、全家庭に提出してもらい、その後全家庭にお知らせしています。
- ・ 中学校区で連携してメディアに対する家訓を決めて取り組んでいる。
- ・ スマホの使用やライフプラン等について、家庭で語ってもらうように学校としてお願いしたい。
- ・ 4月：一家庭一家訓を決め、各家庭で取り組む。9月・2月：学級で振り返りを行う。
- ・ 「おうしゅう運動」に一家庭一家訓(うちのりのルール作り)を位置付けて推進している。
- ・ 全家庭が一家庭一家訓を作成・提出し、学校で掲示
- ・ 子供のための社会ルール30の実践
- ・ 3校(谷山中・谷山小・西谷山小)で「安心安全にインターネットや情報通信機器を利用できる環境づくり」について、取り組み親子できまりについて考える場の設定を継続している。
- ・ 家訓を募集し、カレンダーを作っている。
- ・ 授業参観後に、親子で「一家庭一家訓」について確認する時間を設定し、全校児童の前で、親子紹介も兼ねて発表した。
- ・ 市の取組の「一自慢」や家庭学習60・90運動も形式に加え、家庭だけでなく校内にも掲示した。
- ・ 各家庭に用紙を配付し、記入してもらったものを校内に掲示している。
- ・ 家庭教育学級で「子供の成長とメディアの影響」について、町保健センターの保健師に講話を行なってもらい、各家庭でメディアとのつきあい方に関心を高めることができた。(親子でノーマディアの実施やSNS8時オフなどの取組が見られた。)
- ・ 学校の年間行事予定表の中に、「一家庭一家訓」を記入するスペースを設け、家庭に掲示してもらうように呼びかけた。
- ・ 全校児童の一家庭一家訓を校内に掲示して、忘れないようにしている。
- ・ 各家庭でメディアに関するルールを決めて実践している。
(平日ゲーム禁止は共通実践事項)
- ・ 学校と家庭共に掲示用ポスターを作成し、学校内には1年間掲示した。

Ⅲ 「我が家の教育の日」について具体的事例

【PTAの取組】

- ・ 家庭学習90分以上取り組み、見届ける。親子で語る(学校の様子等)時間 など
- ・ 家読、人権標語など
- ・ 親子で一緒に学習する時間を作り、子供が学校で学んだ内容を復習する。保護者が宿題をサポートし、質問に答えることで学習理解を深める。
- ・ 読書の日、ストレッチ運動、親子でメディアコントロール
- ・ 毎月、家族読書の日を設定している。
- ・ 子育て三行詩への応募
- ・ 各学級PTAで年間テーマを設定し学校と家庭が連携して取組を進めている。
- ・ PTA総会で周知した。各家庭では、「我が家の家訓」の他、「一家庭一運動」「食育」などに取り組んだ。

- ・ メディアを停止し、夕食の準備・団らん等の時間を家庭で過ごす
- ・ 今後の学級 PTA 等の中で周知していきたいと思う。
- ・ 学校保健委員会の中で、児童生徒・保護者も交えて、学校全体の取組内容を決めた。また、各家庭でも読書の日や学習の日を設定した。

【家庭内の取組】

- ・ 週一回は、家族で語り合う場を作るように呼びかけている。将来の話や学校生活、友達等について、テーマを決めて語る。
- ・ 親子での対話、ふれあい活動の推進
- ・ 家庭学習の見守り
- ・ 小中連携の取組で、中学校の定期テストの期間に「我が家の教育の日（かめサンデー）」として家庭学習に家庭で取り組むようにしている。
- ・ 毎月 23 日の「本城読書の日」や「メディアダウンチャレンジ」での親子での取組
- ・ 家族で食事をとる。親子で運動 親子で読書
- ・ 新聞の南風録を書写して、読めない漢字や分からない言葉を家族で話し合っている。
- ・ 「学校であった出来事を話そう」ということ。
- ・ 親子で一緒に食事をとる。
- ・ 家族で大掃除に取り組む。
- ・ 家読（家庭の読書）の推進
- ・ 夫婦で子供に対して困った事や気になる事があれば、情報共有や家族で話す場を設けている。

【学校の取組】

- ・ 各学期に 1 回、家庭学習の充実に関する取り組み強化週間を設定している。
- ・ 家庭学習がんばり週間を設け、カードに記入しながら意欲的に家庭学習に取り組ませ、習慣化を目指している。
- ・ 小中連携の取組として「家庭学習充実週間」を設定している。
- ・ チェックシート「山崎ッズ」による親子の反省、担任の見届け
- ・ 毎月 23 日は「親子読書・ノーメディアの日」を設定し、取組を呼びかけている。
- ・ 学校の定期テストの日に合わせて、家庭学習の習慣付けを行った。
- ・ 生活リズムチェック 歯磨きに関する啓発
- ・ 夏休み期間に家族で運動を行う取組。メディア利用に関する家庭での約束を決める取組。
- ・ 中学校の中間・期末テスト期間に合わせ、下西スリーアップ週間を定め、「基本的な生活習慣」「家庭学習習慣」「親子読書習慣」の 3 つの習慣を向上させる取り組みと体力づくりについての取組を家庭と連携しながら取り組んでいる。
- ・ 親子 10 分間学習の啓発
- ・ 親子読書の日（毎月 23 日）を設定し、読書カードを記入して掲示している。
- ・ 家庭学習強調週間を設定して、每学期 1 週間家庭学習の習慣化に努めている。期間中は、チェックシートを配布し、学習時間や生活時間を親子でチェックすることで、家庭学習の習慣化や学習環境の充実を図っている。
- ・ 毎月 19 日～23 日に健康貯金通帳を記録し、生活習慣の改善に努めている
- ・ 各家庭での過ごし方の呼びかけについて
- ・ ふうだな（大棚）の子 3 つのめあて振り返り日の設定
- ・ 学力向上週間（中学校テスト期間にあわせて設定）を実施し、家庭での見届け確認をお願いしている。
- ・ 読書推進の一環で、MBC アナウンサー二見いすず様をお呼びして親子参加の絵本朗読会を行った。
- ・ 各学期 1 回ずつ定期テスト前にノーメディア週間を設定。校区内小学校も同時に実施。
- ・ 家庭と連携した「60・90 運動」の推進
- ・ 宅習強調週間の実践（年間 4 回）
- ・ 学期に 1 回、学力向上週間を設定しており、生活習慣や学習習慣を見直すためにチャレンジシートを配布し、家庭での取組を振り返る機会にしている。
- ・ 一小一中であることから、中学校の定期テスト期間にメディアコントロールに取り組んだ。
- ・ メディア（テレビやゲーム、インターネット等）の利用時間をチェックすることでメディアコントロールの意識化を図った。
- ・ 「家庭学習強調週間」を学期 1 回実施。各学年に応じて、めやす時間以上の家庭学習、メディア視聴の時間を減らして読書や家事の手伝いをする、生活リズムチェックをとおして家庭における学習の習慣化の確立を図る。
- ・ 我が家の教育計画を冬休み（元旦）に考えてもらい、作品にして提出してもらう。

- ・ 相手の気持ちになって考え、意見を言い合う 家庭学習の見届け ノーメディアデー
- ・ 毎月 23 日を家庭の日として設定し、家読カードにおすすめの本の紹介を書いて学校の掲示板上に掲示している。
- ・ 中学校の期末テストに合わせて実施している学習習慣定着に向けた取組「花丸ウィーク」に合わせて、日頃の宿題以外の自主課題や読者などを進めている。
- ・ 中学校と連携して、中学校のテスト前に「家庭学習強調週間」を設定し、家庭へ積極的な取組を呼び掛けている。
- ・ 毎学期家庭学習強調週間を設定し、家庭での時間の使い方、ノーメディアデーの取組等を行っている。
- ・ 毎月 23 日は、「読書の日」を設定し、読書記録には家庭からの一言を書いてもらっている。また、家庭学習強化週間にファイルにて取り組み状況を確認してもらっている。
- ・ 「読書」「ニュースについて話す」「一日一回はお手伝いをする」「お風呂の掃除を順番にする」「ペットの世話。メディアの時間を減らして読書」

令和 5 年度県 P T A 連合会「重点運動項目」取組状況調査における具体事例のまとめ

I 「食育」について具体的事例

【P T A の取組】

- ・ 「わたしの〇〇大作戦」と題し、長期休業中の課題の一つとして各家庭での取組を推進した。
- ・ 早寝、早起き、朝ごはん、排泄を呼びかけ、「スマイルチェック」で項目ごとにチェックをして意識化を図っている。
- ・ 食育に関する講演会に参加した。今年度、教育講演会で講師をお招きし、「食」について考える機会を設けた。
- ・ 家庭教育学級にて栄養教諭を招いた給食試食会や食に関する授業参観を実施した。レシピを募集して共有した。
- ・ FM かごしま主催の食育教室の実施
- ・ 家庭教育学級の郷土料理教室家庭教育学級で食に関する指導を実施、大隅おさかな教室（家庭教育学級）の実施
- ・ 家庭教育学級で、毎年親子クッキングを実施、親子料理教室
- ・ 家庭教育学級で地域の食材を使ったお菓子作りを親子
- ・ 学校保健委員会等での中学生の時期の食についての講義・実習
- ・ 学校保健委員会での事例発表
- ・ 家庭教育学級での食育講話と給食試食会の実施
- ・ 学校保健委員会や家庭教育学級を活用した呼びかけ
- ・ 全体 PTA でお知らせや保健便り等のお知らせを通して、保護者への啓発をしている。
- ・ 学校保健委員会に講師を招いての講話を行ったり養護教諭から保健だよりの中に食育の記事を掲載したりした。
- ・ 親子で作ったメニューの紹介
- ・ 各家庭で目標設定をさせた。
- ・ PTA 総会にて保健部から話をしてもらっている。
- ・ 学校保健委員会や学級 P T A を通して食育の重要性について啓発を行なった
- ・ 家庭教育学級で味噌づくりに取り組んだ。
- ・ PTA 等で食生活等について情報を交流し、よりよい食習慣の確立に努めている。
- ・ みそ玉作り
- ・ 給食センター視察、試食会、講話
- ・ 各家庭で、子供たちの苦手な食材の一つ選んで、おいしくアレンジしたレシピを作成、調理し、試食する。→PTA 新聞で各家庭の取組を紹介する。
- ・ 各家庭で、子供たちの苦手な食材の一つ選んで、おいしくアレンジしたレシピを作成、調理し、試食する。→PTA 新聞で各家庭の取組を紹介する。
- ・ 株式会社味の素より講師をお招きし、「スマ塩」減塩教室を開いた。家庭教育学級のほとんどの保護者に来ていただいた。
- ・ 「早寝・早起き・朝ご飯」を PTA の努力点に設定し、朝食をとって登校することを共通実践事項にして、全校で取り組んでいる。
- ・ 1 年生保護者を対象に食育講話、親子調理教室を実施している。
- ・ 食育に関する取組を PTA の共通実践事項の一つとして設定し、全体 PTA で養護教諭が説明し、学期ごとにその反省を学級 PTA や関係の専門部で成果及び課題等について話し合っている。

- ・ 家庭教育学級で島の魚料理教室を実施する予定
- ・ 遠足時における親子での弁当作り
- ・ 参観日に学校保健委員会による食育の講座を受け、グループ協議などを行いました。
- ・ いただきます. ごちそうさまを必ず言う。
- ・ 西始良サポーターズ(PTA), 家庭教育学級が中心となり, 稲作体験を実施している。
- ・ PTA 保健部で, 毎月第 2 土曜を「ハートフルタイム」として, 食育に関する取り組みをしている。
- ・ 家庭教育学級で民間の外部講師を招聘し食・添加物に関する学習会を開催。栄養教諭を招聘し全学級で食育授業を実施。
- ・ 学校保健委員会において, 食育オンラインの講演会を行った。
- ・ 学校保健委員会で配膳や箸の持ち方等、食事のマナーについて、栄養士の先生を招いて親子学習会を開いた。
- ・ 家庭教育学級で栄養教諭を講師招聘して「食育講話」を実施。
- ・ 学校保健委員会において, 栄養教諭から朝ごはんの大切さや学校給食での取組など食育に関わる講話を行い, 学級 PTA でも周知を図った。
- ・ 1 年生の親子レクリエーションで、給食試食会を行った
- ・ 12/6 学校保健委員会でカルビーさんをお招きして、お菓子の取り方について講話を頂く。
- ・ 家庭教育学級主催「ピザ作り体験」(薩摩川内市立少年自然の家)
- ・ 家庭教育学級で地域の郷土料理に取り組む予定
- ・ お弁当レシピ集を作った

【家庭内の取組】

- ・ 朝ご飯をしっかり食べよう
- ・ 朝ご飯を必ず食べる。夕食は家族そろって食べる
- ・ 親子レクでカレー作りに取り組んだ。
- ・ 栄養教諭による家庭教育学級での講話
- ・ PTA 主催の給食試食会を実施し, 家庭でのバランスの良い食事について啓発している。
- ・ 読書はないが栄養士による家庭教育学級を毎年実施
- ・ 講師を招いての食と健康、成長に関する講演会を開催
- ・ 学級 PTA 活動として, 米づくりと収穫に取り組んだ
- ・ 家庭教育学級 1 月 24 日予定 食育講話聴講・給食試食
- ・ 家庭教育学級・給食試食会において, 栄養士の方による講話・助言を行っている。
- ・ お弁当のおかず作りを一品でも挑戦
- ・ PTA 保健部による、給食試食会の実施
- ・ 夏休み中に各家庭で調理実践等を親子で行った。
- ・ 11 月に学校保健委員会で食育に関する講演会を行う予定である。
- ・ 季節の行事の機会を捉えて, お菓子作りや料理に挑戦してみた。
- ・ 食事のマナーや食習慣の大切さを家庭で話し合う。
- ・ 旬の食材を食べる。
- ・ 季節のイベントで行事食を食べる。
- ・ 食材について家族で話したり、買い物の時どこの野菜で、誰が作ったのか生産者を見ながら選ぶ。
- ・ プランターでジャガイモを作り、一緒にほる。
- ・ 親子で郷土料理を作った。
- ・ 「おうちでクッキング!SDGs~減らそうフードロス~」の実践 夏休みに家族で料理作りを実践し、その活動の様子をまとめるようにした。
- ・ 祖父母の田畑でお米や野菜を育てていて、その手伝いを通して、作物を作ることの大変さや有難さを学んでいる。
- ・ 果物や魚等、地元で採れた食材を使った料理(できるだけ島で採れるもの)
- ・ 一緒に料理, 野菜栽培, 苦手な食事を工夫して調理, 地産地消について話す。
- ・ 朝ベジにとり組もう!

【学校の取組】

- ・ 栄養教諭による児童への食育授業 栄養教諭による保護者への啓発活動(家庭教育学級)
- ・ 町給食センター栄養教諭による講話(家庭教育学級)
- ・ お節料理・和菓子作り教室の開催(家庭教育学級)
- ・ お弁当の日。おにぎり給食を実施した。親子でお弁当作りに取り組んでいる。
- ・ 遠足のお弁当を自分で作るお弁当チャレンジ。生活科にて様々な種類の野菜を作る。
- ・ 毎月朝食アンケートの実施、町が主催の「親子食育教室」に油久小家庭教育学級として参加

- ・ 県民週間等での給食試食会を実施し、食育について考えを深めてもらう場を作った。その際に栄養教諭からの説話
- ・ 3年生親子料理教室
- ・ 「保健だより」で栄養バランスを考えた食事の大切さについて広報したり、「学校給食だより」で栄養バランスを考えた食事メニューが紹介された。
- ・ 生活リズムチェック週間の実施
- ・ 毎月朝食アンケートによる朝の朝食チェック お弁当の日 夏休みの課題
- ・ 朝食の大切さについて学校保健委員会や保健だよりで啓発した。
- ・ 子どもたち自身が野菜を育て、それらを収穫し、親子一緒に調理を行った。親子でサツマイモの栽培・収穫、コメの栽培・収穫、米づくり 大根づくり さつまいもづくり
- ・ 地元の伝統野菜である松原田大根の栽培
- ・ 餅つき大会 追い込み漁
- ・ 給食時間に毎日「食育クイズ」を出題し、児童の興味関心を高めている。
- ・ 「自分で作る弁当の日」の取組
- ・ 朝ごはんをしっかりと食べる。有機栽培食品などの啓発活動。
- ・ 収穫した米を使用する餅つき体験
- ・ ソーセージ作り体験(1年生)、そば作り体験(5年生)、栄養教諭出前授業(各学年)
- ・ お弁当の日を実施した
- ・ 朝ごはんを毎日食べるように促し、容疑検査で確認する。
- ・ 稲作体験、餅つき体験
- ・ 必ず朝ご飯を摂取する。・子供の健康に与える朝ご飯の影響に関する講話
- ・ 親子ふれあい給食の実施
- ・ 栄養教諭による食育指導
- ・ ぎんなん加工、お茶とのふれあい事業、伊集院饅頭作り
- ・ どんぶりコンテストの校内審査会
- ・ ほけんだよりで朝ごはんの啓発を行った。
- ・ 家庭科での宿題
- ・ 長期休業の課題で「朝食をつくろう」に取り組んでいる。
- ・ 弁当の日、わくわくお弁当の日
- ・ 学校の菜園で取れた、さつまいもやじゃがいもを調理して、食べた。
- ・ 朝食夕食調べ
- ・ 弁当の日を年4回設け、生徒自身が学校農園で育てた食材を使用して家庭で弁当をつくり、持参する。
- ・ 給食時間に運営放送委員会の児童が「本日の献立」の発表をし、特に一つの料理について詳しく説明している。
- ・ 食に関する指導は保護者も参観してもらい実施している。
- ・ 学校で栽培(農業体験)した野菜を持ちかえり、親子で料理して食べたり、家庭教育学級で親子クッキングをしたりしている。
- ・ 夏休み課題(家庭科:栄養バランスを意識したメニュー作りを家族と一緒に考えよう)
- ・ 栄養教室で児童生徒が学習した内容を家庭学習の課題として取り入れた。
- ・ 月ごとにふれあいウィークを実施し、朝ごはんをしっかりとっているか1週間チェックを行っている。
- ・ 稲作体験を行い、収穫した米をPTA秋フェスで販売した。
- ・ さつまいも 米 作り
- ・ 総合的な学習の時間で、「弁当の日」を年2回実施している。
- ・ 「弁当の日」を2回設定し栄養教諭が生徒に授業を行い、各家庭で親子で弁当作りを取り組んでいる
- ・ 夏休みの「健康レシピ親子クッキング」→優秀レシピは給食で提供
- ・ 夏休み明けに、早寝早起き朝ごはんを呼びかけ、生活リズムアンケートをとった。朝ごはんについては、9割以上の児童が平日も休みも取れていた。
- ・ ほけんだよりや給食センター発行の「食育だより」をとおして「食育」についてPTAに伝えている。
- ・ 栄養教諭による講話、緑の少年団(椎茸調理)活動
- ・ 朝食の重要性を伝え、食べる順番も考えて食べることの大切さを教えた。
- ・ 学校保健委員会や学級PTA等を活用して、食育の重要性について話題にするなど啓発を図っている。
- ・ 食育便りの配布
- ・ 食育推進委員会(年2回) 学校給食試食会 11月2日実施
- ・ 夏休み中に、「親子でチャレンジ朝ごはん」として、各家庭、栄養を考えた朝ごはんを作った。

- ・ 給食試食会にヤクルト出前講座の講師を招へいし、食育に関する保護者向けの講話を行った。
- ・ 地域ボランティアの協力を得ながら年間通して、地域特産のさつまいも・オクラ・そばの植え付け・収穫・収穫物を使った郷土料理の調理
- ・ 子どもが作るお弁当の日の設定
- ・ 「手作り弁当の日」を設定し、各家庭で発達の段階等に応じた弁当作りに取り組むことで、食育について考える機会としている。また、学校においても、それに向けて外部講師を招いた食育の授業を行うなど啓発に努めている。
- ・ 町：給食レシピコンテスト、食に関する標語、学校：食農体験学習（落花生、じゃがいも栽培）
- ・ 早寝・早起き・朝ご飯の励行
- ・ 肥満予防の周知（保健だより）
- ・ 朝食レシピコンテスト（夏休み課題）
- ・ 保護者や地域を交えた米作り
- ・ ゴーヤ、ヘチマの植え付け・栽培・収穫、さつまいも・じゃがいもの植え付けと収穫、米作り塩水選・もみまき・田植え・草取り
- ・ 稲刈り・脱穀・精米・餅つき）を全て昔ながらの手作業で行った。
- ・ 生活リズムチェックを家庭で実施し、朝ご飯をとることの意識づけをした。
- ・ 保健だより、食育だよりの配布、各家庭で食に関する話、家庭教育学級のテーマに食育を取り上げたり、実技研修会を実施したりした。
- ・ 食事の時はテレビを消す 食事の用意や片付けをする 規則正しく食べる習慣づけ 食事のマナー 食事に関する絵本を読む 家庭菜園をする 親子で料理をする。
- ・ 親子で朝食作り（学期 1 回）
- ・ 栄養教諭をお願いし、弁当作りの授業の実施。お弁当の日の設定
- ・ 月 2 回、栄養教諭より食育便りを発行している。また、給食時間に、栄養教諭による献立の発表や、食材についての解説などの紹介があり、
- ・ 学校主催ではあるが、7 月 12 日に弁当の日を設定し、希望者を対象に自作弁当を持って来させ、写真を撮り、ポスターにして校内に掲示した。
- ・ お弁当の日の設定・地産地消の調理実習（じゃがいも植え付け～収穫して調理実習）
- ・ 各家庭で食育目標を決定し、専用用紙に記入したものをラミネートし、校内と家庭で掲示し、各家庭で取り組む。
- ・ 弁当チャレンジの日を集合学習（年 5 回）の日に取り組み、子供に応じて 8 つのコースの中から選び、自分の弁当づくりを行っている。
- ・ 「ニコニコお弁当の日」として、子どもが保護者と一緒にお弁当を作るようにしている。
- ・ 米作りと育てたもち米を使った調理を実施。
- ・ 筍取り・田植え・稲刈り体験の実施、地元の川で獲れた「アユ」を、川遊びの際に食す。
- ・ 遠足における「お弁当の日」の設定（お弁当を発達段階に合わせて作成）
- ・ 長期休業中の親子で朝食づくり
- ・ 健康生活週間を設定し、家庭でチェックした。
- ・ 自分で作るお弁当の日（年 2 回）、食育教室、「食育の日」の残食調査
- ・ 給食試食会（1 年生）、野菜の栽培
- ・ 11 月 11 日（土）、給食センターから栄養教諭を講師に全学級で食育教室を実施した。
- ・ 家庭科の学習を活用した高学年での長期休みにおけるご飯作り
- ・ 新入生の保護者を対象に給食試食会を実施し、本校の給食提供の内容や様子を知る機会を設けている。
- ・ 毎年 5 年生が取り組む『伊敷長なす里帰りプロジェクト』で、栽培、収穫、調理を通して『食』の大切さを学んでいる。
- ・ 学校行事に親子で参加（田植え、稲刈り、餅つき）
- ・ 夏休みに各家庭で「かみかみメニュー」を考案します。それを学校に掲示し来校よしていただいた際に見ていただく。「かみかみメニュー」を給食の献立に採用し給食をみんなでいただく。
- ・ 地産地消の取り組みを授業にと入れる。

【地域の取組】

- ・ 市 P 連による各家庭でのレシピ作成
- ・ 郷土料理教室
- ・ 志布志市 P 連 どんぶりレシピコンテストへの取組
- ・ 市 PTA 母親学級において、食育について講師を招き研修を行う
- ・ 地域 PTA 研修会にて、食育の講話を聞く予定である。
- ・ 校区で子どもたちが生産したり収穫したりした食材を使って地産地消を味わう。

- ・ 上記食材を使って、調理実習をしたり、親子での料理に取り組んだりした。
- ・ 地元の特産品を生かした「どんぶりレシピコンテスト」を実施し、郷土の良さを食事を通して再認識する機会をつくれた。

Ⅱ 「一家庭一家訓」についての具体的事例

【PTAの取組】

- ・ 年度初めの学級 PTA で取組についての呼びかけ、実践
- ・ 年度初めの PTA 総会で取組を具体的取組について共通理解し、全家庭で「一家庭一家訓」を作成し各家庭で掲示して実践につなげている。また、学期ごとの学校評価の項目に入れたり学級 PTA での話題としたりすることで各家庭での意識化を図ることができた。
- ・ 子育ての目標を決めて、家庭教育学級等の会合の際に、子育ての目標や具体策について話し合わせた。
- ・ 学級のテーマを受けた家訓づくりを呼びかけている。学級 PTA 時、教室に掲示した。
- ・ 取組状況については、毎学期末の学級 PTA で振り返る。
- ・ PTA 総会で周知した。
- ・ 第 1 回学校保健委員会では、生活リズムチェックカード(早寝・早起き・朝食摂取状況・バランスの良い食事・メディア時間・排便)の取組について振り返りを行い、メディアより楽しい体験をさせること(人と関わる楽しみ)の時間を増やすことの大切さについて確認した。
- ・ PTA 新聞等での紹介
- ・ 5 月各家庭「一家庭一家訓」提出、PTA 生活部で集約。7 月 1 学期末 PTA で紹介
- ・ 家庭学習の面で、親子で読書に取り組み、おすすめの図書の紹介カードを構内に掲示する取り組みをしている。
- ・ 一家庭一家訓についての周知を行う部が明確になっていなかった。今後、部の担当を明確にし、取り組んでいく予定である。
- ・ 毎年 4 月の家庭教育学級において、趣旨説明を行い、各家庭に一家庭一家訓の記入枠を配布して、記入後提出してもらう。学校掲示用と家庭掲示用をラミネートして活用している。
- ・ 学校、家庭の見える場所に掲示し、取り組みを確認する。
- ・ 生活のリズムが崩れやすい次期を想定し、日頃から早起き、早めの登校、早めの就寝等を心掛けるような家訓。
- ・ 先手であいさつする
- ・ ラミネートした「一家庭一家訓」を家庭と学校に掲示し、日頃から意識して生活を送るようにしている。
- ・ 「中途半端なことはしない」を家訓とし、最後までやり遂げる力を促している。
- ・ 「一家庭一家訓」の取組状況を学級 PTA で振り返るなど、保護者間における情報交換の場を設けている。また、取組状況を年 1 回のアンケートで集約・報告するようにしている。
- ・ 授業参観後に、親子で『一家庭一家訓』について確認する時間を設定し、全校児童の前で、親子紹介も兼ねて発表した。
- ・ 「我が家の家訓」に併せて、今年度は「一家庭一運動」も盛り込み、ミニ掛け軸を作成し掲示を行った。
- ・ メディアと関わる時間(平日テレビ 30 分、土日のゲームは 1 時間)、スマホやゲーム等の使い方(就寝 1 時間前はメディアを使用しない)、生活リズム(9 時までにはふとんに入る)
- ・ 各家庭より家訓を募集し、カレンダーを作成し、配布した。
- ・ SNS 利用について、『21 時には電源オフ』や『オクラの神様』のルールを周知している。
- ・ 4 月の PTA で各家庭において決め、学期末に取り組みの様子を情報交換している。
- ・ 家族であいさつ(おはよう おやすみ) 親子読書の日の設定 ノーメディアデー
- ・ 全家庭の家訓を集約して一枚にまとめ学校に掲示している。また各家庭でも自分の家庭の家訓を掲示してもらっている。
- ・ 「家族でチャレンジ」の実践項目の設定「目を見てあいさつ、ハグ、ストレッチ、今日の良いことを発表」など、それぞれの家庭で実践内容を話し合い、設定した内容を「チャレンジカード」として提出する。
- ・ 親子ふれあいをテーマにした家訓に絞っている
- ・ 学校保健委員会の本年度のテーマである「親子で取り組むメディアコントロール」の取り組みの一つとして、我が家のルールを決めて取り組んでいる。
- ・ 我が家の家訓コンテスト開催したり、PTA のしおりに記載したりして周知している。

- ・ 地域懇談会において「一家庭一家訓」について互いに紹介をしあう。
- ・ 月 1 回の生活習慣等を確認する取組の 1 項目に入れ、啓発している。
- ・ 本校の学校教育目標に合わせ、キャリア教育を軸とした一家庭一家訓を呼び掛けた。
- ・ 例：「一日一善」、「自分でできることは自分です」、「相手への思いやり、感謝が明日への幸せとなる。毎日楽しく生きる」、「感謝の気持ちを忘れずにありがとうを伝えよう」等
- ・ SNS 等の利用について、家庭内でルールをつくるよう啓発するとともに、「すこやか週間」を設定し、その取組状況を確認している。
- ・ 「我が家の PTA 共通実践事項」に記入して各家庭で掲示してもらっている
- ・ 年度初めの授業参観で、全家庭が体育館に集まり、家族の紹介と一家庭一家訓、我が子自慢の発表会を行っている。
- ・ 学校保健委員会テーマ：「メディアに関すること～基本的な生活習慣の確立を目指して～」に関して「我が家の約束」をカードに記入し、校内に掲示した
- ・ 夏休みに家族新聞を作成し、我が家の家訓を入れている
- ・ 年度はじめに各家庭ごと、学校掲示用のシートに「我が家の家庭学習 3 か条」を記入していただき、学校内に掲示している。

【家庭内の取組】

- ・ 年度初め、P 戸に配布し、一家庭一家訓を校内に掲示した。
- ・ ノーゲーム・ノーテレビデーの実践(週 1 回、時間を決めて)
- ・ スマホ・タブレット・インターネット利用のルールづくり
- ・ 親子で寝る前ストレッチ。兄弟 3 人 2 キロの道のり歩いて登下校。
- ・ 情報モラルに関する家庭内ルールの設定
- ・ あいさつを元気よくする
- ・ 一日一回の親子の会話、体力向上を狙いとした「体話」活動を実践している。
- ・ 学校主体で取り組んでいる
- ・ 学校と家庭の両方で掲示
- ・ メディアに関すること(1 日のテレビの視聴時間、ゲームやインターネットの使用時間を決める。)
- ・ 毎週水曜日に実施している「元気チェック」や学期 1 回ずつ取り組んでいる「メディアダウンチャレンジ」での親子で目標設定
- ・ 我が家のメディア・ルール
- ・ スマホやタブレットを止めて、家族とのコミュニケーションの時間を作る。
- ・ ゲーム、パソコン、携帯電話の 9 時電源 OFF
- ・ ありがとう と ごめんなさい は、言えること。
- ・ 元旦に我が家の新年の抱負として各家庭で考えてもらい、作品を提出してもらう。
- ・ できるだけ前向きな言葉に変換して発言することを日頃から意識する。
- ・ 相手の気持ちになって考え、行動する。
- ・ ありがとう、ごめんなさいを大切にする。
- ・ 1 日一つお手伝いをする。
- ・ 一家庭一運動遊び(7 月～3 月)家庭で話し合い、子供たちの運動の日常化・生活化を図る。
- ・ 「自分のことは自分で」だけでなく、家族で協力し合い、助け合う。
- ・ あいさつの言葉は声に出して伝える(ありがとう、ごめんなさい)。
- ・ 晩ご飯を揃って食べる。 ・ 曜日ごとに子供たちが洗濯をする。

【学校の取組】

- ・ 各家庭 2 枚同じものをかき、1 枚は学校廊下(職員室壁面等)に掲示、もう 1 枚は、家庭に掲示し家庭と学校で意識付けを図った。
- ・ 一家庭一家訓を家族で話し合い、用紙に書いてラミネートし、家庭に掲示してもらっている。
- ・ 標語作成を家庭に依頼した。
- ・ 年度始めに生活リズムを整える取組を行い、各家庭に目標を立てて取り組むよう呼びかけた。
- ・ 毎学期、アンケートにて取組状況を把握して保護者に還元して意識を高めている。
- ・ 家庭学習強調週間と連携した取組
- ・ 長島中学校区の 3 校で共通して取り組んでいる。
- ・ 親子で読書をする、親子でスポーツを行う
- ・ 単位 PTA のテーマ「生活習慣の見直し」からそれぞれの家庭で生活時間の見直しなど実践されている。

- ・ 「生活リズムを整えよう」をテーマにして、親と子で目標と具体策を決める取組をしている。
- ・ 本校の課題である保健に関する事項を中心に取組んだ。
- ・ ご飯を一緒に食べる(共食)、一緒にラジオ体操をする
- ・ 各家庭で一家訓を設定し短冊を作成、年間通して取り組むよう各家庭及びクラスに掲示。
- ・ わが家の誓約書(ゲーム・スマホ使用時の約束)を各家庭で設定している。
- ・ 長期休業中前に生活リズムを整えたり、家庭での手伝い等について考えた。
- ・ 年度当初のPTA総会において、「あいさつ」や「手伝い」、「ノーテレビデー」など例を挙げて、継続して取り組むことを呼びかけている。
- ・ 寝る前の歯磨き
- ・ 常に声掛けて実践、家族で思いやりを持つ、挨拶を必ずする
- ・ 「晩御飯は家族で食べる」等の目標を立てて各家庭で実践

Ⅲ 「我が家の教育の日」について具体的事例

【PTAの取組】

- ・ 家庭学習見届け週間の実施
- ・ 学校や地域の奉仕作業に親子で参加
- ・ 上小原中学校と連携して毎月23日を「ノーメディアデー」に設定して取り組んでいる。また、中学校のテスト期間に合わせて「家庭学習強調週間」に設定して家庭生活の見直しを図っている。
- ・ PTAで学級の重点課題を決めて、週報で定期的に呼びかけて実践している。
- ・ 家庭教育強調週間を設定して、毎学期1週間家庭学習の習慣化に努めている。期間中は、チェックシートを配布し、学習時間や生活時間を
- ・ 親子でチェックすることで、家庭学習の習慣化や学習環境の充実を図っている。
- ・ 学校便り、保護者アンケート結果による啓発
- ・ 中学校と連携した「かめサンデー」(遊びに行かないで家庭で学習する日)の実施を学期1回行っている。
- ・ 毎月25日を「心の教育の日」と設定して取り組んでいる。
- ・ アウトメディアの日の推進
- ・ 保護者から課題を出してもらい学校で紹介している
- ・ 「深めよう、人との絆」のテーマのもと、コミュニケーションについて取り組んでいる。
- ・ 家庭の日、毎月第3日曜日に位置付け、各家庭で一緒に料理を作ったり、手伝いをしたりするなどして家族団欒の時間をできるだけ作るようにしている。また、家庭で読書する習慣をつくるように呼びかけている。
- ・ 日曜日も早寝早起き
- ・ 月ごとのふれあいウィークにおける読書や夏季休業中に親子で取り組む体力づくり
- ・ 家読
- ・ PTA総会等で周知した。
- ・ 学級PTAなどで資料配布と呼びかけ
- ・ 元旦に我が家の教育計画として各家庭で考えてもらい、提出してもらう。
- ・ 家庭教育学級で、家庭でのコミュニケーションの大切さについて研修を行った。
- ・ PTA交通指導の取組(学期始め)、お金の使い方について親子で考える「親子マネーセミナー」の実施
- ・ 学校運営協議会・学校保健委員会等での学校の良さと課題の共有
- ・ 校区行事の中での学校の取組紹介と学校便り、ホームページ等での情報発信
- ・ 地域が育む「かごしまの教育」県民週間で参観者が増加した。学校評価をWeb回答することにより、回答率が上がった。
- ・ 全体PTA、学校運営協議会、地域学校協働活動
- ・ 人権の日
- ・ 学校と家庭が連携し、毎月23日を「親子読書の日」と設定し、読み聞かせを行ったり、家族で読書に親しむ機会を設定したりしている。

【家庭内の取組】

- ・ 小中連携として中学校の定期テストに合わせてメディアコントロール週間を位置づけ家

庭学習に取り組んでいる。枕崎市で作成している

- ・ 情報モラルに関する家庭内ルールの見直しと親子読書の推進
- ・ 親子読書の日の設定、メディアチャレンジの日の設定
- ・ 親子のコミュニケーション、お手伝い、歯みがきの仕上げ、親子読書、一緒に遊ぶ
- ・ 「ノーメディア日の取組」と「家族で話そう」の取組を同じ日に設定するようにしている。
- ・ 毎月 23 日のある週に、テレビを消して 20 分間親子で読書に取り組んでいる。取り組んだ内容は、家読記録カードに書いてもらっている。
- ・ 家庭で音読（新聞記事や詩）
- ・ 親子読書、親子で体力づくり（各家庭で設定）
- ・ 家事（食器の洗い方、庭掃除の仕方）について学ぶ

【学校の取組】

- ・ 各家庭 2 枚同じもののかき、1 枚は学校廊下に掲示、もう 1 枚は、家庭に掲示し家庭と学校で意識付けを図った。
- ・ 「家庭教育手帳」の活用を促している。
- ・ 生活リズムチェック週間に合わせて、子供たちの家庭学習等の状況を親子で確認している。週に 1 回は語り合う場（家族団欒）を作ってもらっている。
- ・ 各家庭での親子読書の日を設け、毎月実践
- ・ 「メディアコントロール週間」と題し、家庭におけるメディア（特にスマホや PC）の使用方法や時間を考える週間を設定し実践しました。
- ・ 毎月 2 3 日は、親子で読書の日と定めている。
- ・ 家庭生活チェックの内容を見直した。（起床時刻・就寝時刻・学習時間・メディア時間・運動・朝食の摂取）
- ・ ふうだな（大棚）の子 3 つのめあて振り返り日の設定
- ・ メディア OFF の日など
- ・ 夏休みの課題帳に「親子で絆体力 UP! 大作戦」に取り組んだ。
- ・ テレビを消して夕ご飯
- ・ 海岸清掃への参加
- ・ 小学校と連携して、テスト前に家庭学習強調週間を設定
- ・ 親子で読書。読み聞かせでも、別々でも、みんなで読書。
- ・ 家庭学習がんばり週間を設け、カードに記入しながら意欲的に家庭学習に取り組ませる。
- ・ 家庭学習の見届け
- ・ 家庭学習 90 分周知し達成状況を調べた
- ・ 強調週間を設定し、家庭学習を含めた生活リズムについて、親子で記録し、話し合うようにしている。
- ・ 心の教育の日とタイアップ。全校一斉道德の授業参観の後、各家庭で話題にあげ話し合うようにしている。
- ・ 毎週金曜日に各家庭で英語であいさつや簡単な英会話をするイングリッシュデイを学校と家庭と連携して行っている
- ・ 親子読書の日（毎月 2 3 日）を設定し、読書カードに記入し、読んだ本の紹介を兼ねて掲示している。
- ・ 家庭学習強調週間（中学校区で統一）で、年度当初配布した家庭学習リーフレットの活用を促し、学習内容・振り返り等をカードに記入し、次回に生かしている。
- ・ 家庭学習強調週間及び親子読書の日を毎月実施
- ・ アシストシート等を活用した苦手克服の期間としている。
- ・ 毎月 1 回教育相談日を設定し、保護者との相談活動を行っている。
- ・ 県教育庁高校教育課学校教育 ICT 推進班の先生を講師に PTA 講演会を実施
- ・ 家庭教育学級において、学校経営方針を説明
- ・ 親子読書への保護者へ呼びかけ、家庭教育学級で家庭学習の大切さについて研修した。
- ・ 元気もりもり生活週間を実施し、メディアとの関わり方を見直した
- ・ 生活リズム調査の実施（年 4 回、各家庭で起床時間・就寝時間・メディア時間を記入）